

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	○災害対策 ホーム裏の崖による土砂災害、宮川からの水害に対する避難対策を早急に検討する必要がある。消防計画における年2回の総合訓練以外に、自主防災訓練に関する年間計画を立案し、様々な災害に対応できるようにする必要がある。	① 土砂災害、水害などに対応する避難対策を今年度中に作成する。 ② 自主防災訓練に関する年間計画を立案し、今年度中に作成し様々な災害に対応できるようにする。	① 防災責任者とホーム長が中心となり、避難対策を作成する。 ② 他グループホームでの取り組みも参考にし、入居者や職員の負担にならないよう注意しながら自主防災訓練の内容を検討するとともに	6ヶ月
2	13	○職員を育てる取り組み 月1回を目安に内部研修及び外部研修参加職員による研修報告会を開催するよいにしているが、内容の見直しとともにより職員が参加しやすい環境を整備するよう工夫していきたい。	① 月1回の内部研修の内容充実と参加しやすい日時・回数検討 ② 外部研修により参加しやすい勤務体制の工夫	①② 内部研修講師とホーム長及び計画作成担当者の事前打合せを密にし、研修開催の目的と研修後参加者にどのように感じて欲しいかを明確にする。さらには、多くの職員が参加可能なよう開催回数・日時等の工夫をする。外部研修については、ゆとりのある人員体制を作れるよう工夫する。	6ヶ月
3	11	○運営に関する職員意見の反映 年2回の職員に対する個別面談の継続とともに、2月に1回のフロアごとのチーム会議をより内容の濃いものとし、充実を図る。	① 年2回の職員面談の継続と面談の目的及び方法の再検討 ② チーム会議の内容充実のためのリーダー会議の開催	①②ホーム長には職員個人のモチベーションが向上するような面談技法を学ぶ機会を設ける。面談は注意の場ではなく、対話する場ということを職員に理解してもらう。チーム会議においては開催の目的や会議後に理想とするチームの姿を考えながら開催準備をし、意義のあるチーム会議を目指す。	6ヶ月
4	40	○食事を楽しむことのできる支援 現在献立の検討や食材購入は昼食時のみであるが、朝食や夕食へも積極的に入居者が調理に携わることができる体制を整える必要がある。	① チーム会議を有効に活用し、チーム職員からの意見も聴取しながら朝食、夕食調理時への入居者の積極的な参加方法を検討していく。	① 昼食時のやり方を基本に考えつつ、より職員数が少ない時間帯で実施する方法を具體的に考えていく。試行と評価を繰り返しながら、入居者のADL・IADLと職員の負担を考慮することに注意する。	12ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。